

【稲沢市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」及び稲沢市の教育・学校教育における指導の基本方針のもと、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習用タブレットPC等のICT機器を効果的に活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実を目指し、これからの時代に求められる資質・能力の育成に努める。

2. GIGA第1期の総括

GIGAスクール構想の下、令和2年度末にタブレットPCが使用できる環境（無線LANアクセスポイント・充電保管用キャビネット等）を整備し、全児童生徒および教職員（小学校は学級数、中学校は教員総数）にタブレットPCを配備した。令和3年度9月に中学校から教職員用の数量が不足しているとの要望があったため、児童生徒用の予備機を中学校教職員用に転用した。以後、児童生徒数の減少に合わせて教職員用の台数を調整している。また、令和3年度の機器導入時から合わせて授業支援システム「スカイメニュークラウド」も合わせて導入した。

ICT支援員についても、タブレットPCの運用開始に合わせて令和3年度から小学校5名、中学校2名の7名を配置した。校内研修・授業支援・ICT環境整備に大きく寄与した。

令和4年度から学校や家庭での学習環境を充実させるためにオンライン学習教材「スタディサプリ」を導入しており、有用性が実感できたため、オンライン学習教材の活用も継続していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末を使用できる環境を引き続き維持していく。また下記を目標として環境整備や、アプリケーションの研究・導入等を進める。

《1人1台端末の積極的活用》

- ・毎年度ICT研修を受講する教員の率 100%
- ・情報通信技術支援員（ICT支援員）の配置 4校/人
- ・1人1台端末を週3回以上活用する学校の率 100%
- ・デジタル教科書を実践的に活用している学校の率 100%

《個別最適・協働的な学びの充実》

- ・児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率 100%
- ・児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率 80%
- ・教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率 80%
- ・児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率 80%

- ・児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率 80%

《学びの保障》

- ・希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率 100%
- ・希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率 100%
- ・外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率 100%
- ・障害のある児童生徒や病氣療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率 100%